



# とっまよ 68

2026.  
3.12発行

特集

## 知財を生み出す 女性たち



### Interview 01

**未利用資源を新たな価値に変える技術。  
知財戦略で拓く循環型社会への道**

> ファイトケミカルプロダクツ株式会社

### Interview 02

**少数精鋭の特許権で「美しい特許網」を作る  
AI医療の最前線**

> 株式会社カルディオインテリジェンス

**知財戦略** どうやって取り組んでいるの？

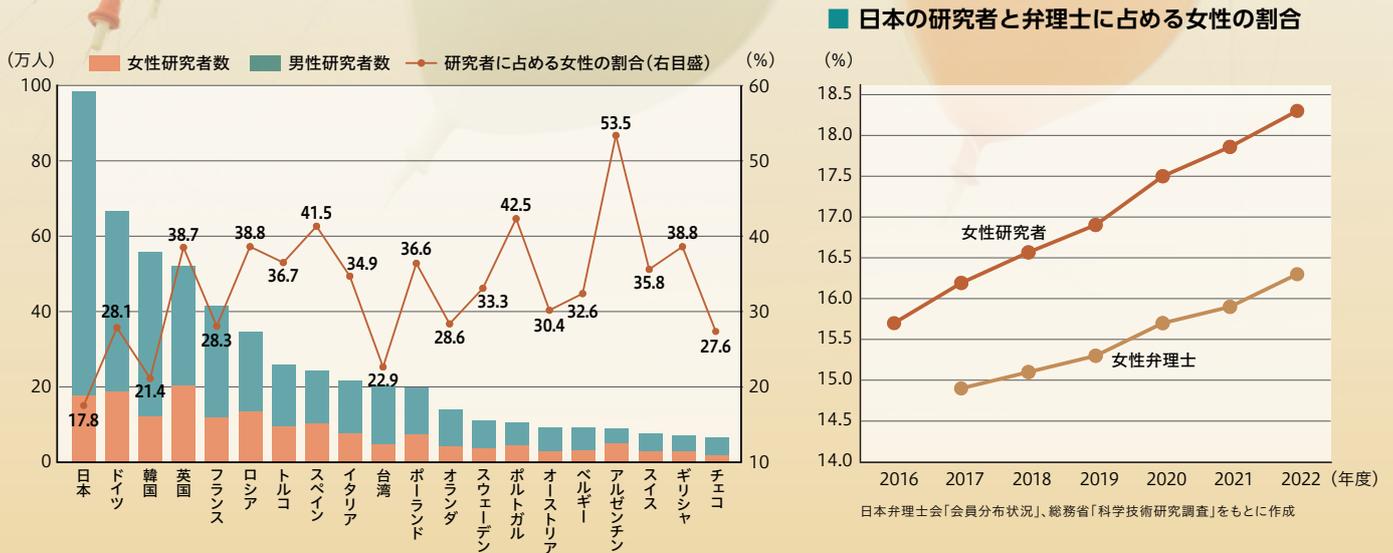
**夜空を巨大なキャンバスに！  
世界初の人工流れ星へ挑む  
女性起業家の夢を守る知財力**  
株式会社ALE

特集

# 知財を 生み出す 女性たち

## 3月8日は国際女性デー 知財の世界で女性たちが活躍中

3月8日は国際女性デー。  
本特集「知財を生み出す女性たち」では、  
知財を活用し新たな価値を生み出す  
女性リーダーたちに焦点を当てます。  
彼女たちの実践知は、  
これからの知財戦略と組織づくりへの  
大きなヒントとなるはずです。



(出典) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2023」調査資料-328、2023年8月

## データが示す女性の活躍

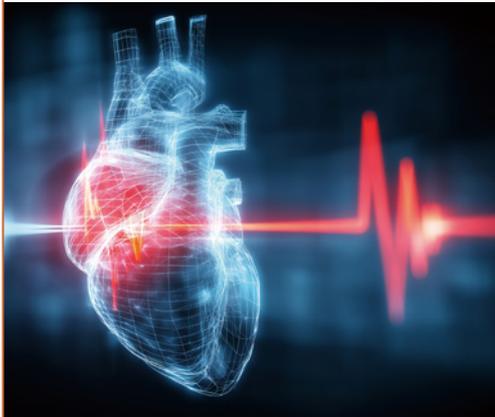
研究開発や知財といった、いわゆる理系の仕事の現場は男性だらけ？ いいえ、それは一昔前の話。日本の女性研究者の割合は、諸外国と比較すると高くありませんが、近年、日本の研究者と弁理士に占める女性の割合は、ともに増加傾向にあります(上図参照)。

## 知財を生み出すもとは多種多様

こうした中、本号では知財の世界で活躍する女性に注目します。スタートアップから大企業まで多岐にわたる現場で活躍する彼女たちは、組織や研究開発プロセスの第一線で、知財や技術の専門知識を活かしながら、知財活用や技術的發展を力強く推進しています。時には、育児等の経験を通じて身につけた母親としての感性を活かすことも。

例えば、真に事業に必要な知的財産権の権利範囲を追求する戦略、不可能と思われるような夢を実現するための努力を続ける粘り強さ、日常生活の困りごとを見い出す着眼力、困りごとを解決するためのアイデアを考える発想力など、知財を生み出すもとは多種多様。

彼女たちの知財を武器に世界へ挑むストーリーから、知財の世界で役立つ多くのヒントを見つけてみてください。



P.06

医療のDXを推進する  
「美しい特許網」。  
事業成長のエンジンとしての知財



P.04

「特許とノウハウの使い分け」で挑む、  
東北大学発スタートアップの  
循環型社会



P.16

「夢かなう」。  
不可能を可能にした  
世界初の「青いバラ」



P.08

人工流れ星へ挑む  
女性起業家の夢を守る知財力

YouTube  
で観る  
「とっきよ」  
Vol.4

## 東北大学発の知財を活用 未利用資源の可能性を社会に問いかける挑戦

YouTube / JPOちゅーぶ【特許庁】



東北大学の技術を基盤に、米ぬか製造時に排出される未利用油から機能性素材を生み出すファイトケミカルプロダクト。研究畑から転身し、多くの女性が活躍する組織を率いる加藤社長に、技術流出リスクを抑えつつグローバル展開を可能にする、その緻密な知財戦略を伺いました。

特許技術で  
2つの事業モデルを展開

東北大学発の  
スタートアップ

「EXPO 2025 JPO-WIPO AWARD  
女性活躍推進部門」を受賞

もの売り・技術売り

試薬を1/10の価格に  
研究開発に貢献

女性たちが  
活躍中

# 未利用資源を 新たな価値に変える技術。 知財戦略で拓く循環型社会への道



ファイトケミカルプロダクツ株式会社  
代表取締役  
加藤 牧子さん

東北大学工学研究科・北川尚美教授の研究室の卒業生であり、プラントエンジニアとしての経験と技術士(化学部門)の資格を持つ。北川研究室で開発された世界初の「イオン交換樹脂法」を基盤技術とした東北大学発のスタートアップ企業を2018年に立ち上げ、CEOに就任。

## ファイトケミカルプロダクツ株式会社

所在地：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40  
東北大学連携ビジネスインキュベータ T-Biz 103号室  
URL：<https://phytochem-products.co.jp/>  
設立：2018年(平成30年)  
業種：機能性食品・化粧品・医薬品の原料の製造・販売、バイオ燃料の製造、およびこれらの製造装置の設計・製作・販売  
従業員数：8名(2025年12月現在)

## 特許とノウハウを戦略的に使い分ける

私は東北大学の出身で、卒業後はプラントエンジニアリング企業でエンジニアとして働いていましたが、結婚と出産を機に退職。しかし、下の子が1歳になる頃、恩師であり当社の技術の生みの親でもある北川尚美教授から声をかけていただき、大学に戻るようになりました。

イオン交換樹脂は、もともと水などの液体から不純物を除去する用途で広く利用されてきました。東北大学では、イオン交換樹脂が油中で反応と分離を同時に進行させる機能を持つことを発見しました。そして、米サラダ油の製造過程で副生する食べられない油から、微量成分であるビタミンEを低エネルギー・低溶媒条件で分離・回収できること、さらに、残りの成分を発電用燃料などに用いられる脂肪酸エステルへ変換できることを明らかにしました。当時、大学では基礎研究が進み、スケールアップを目指す段階にありました。そこで、私が企業で培ってきたプラント設計の知見と大学の研究成果を融合させ、実用化を推進することになりました。その後、大学発ベンチャー創出プログラムに採択され、2018年に事業化し、私が代表取締役に就任することになりました。

本技術の基本特許は当初、東北大学が保有していましたが、事業化にあたり、ビタミンE製造技術に関する知的財産権を有償にて大学から取得し、現在は当社が保有しています。

東北大学発のスタートアップ、ファイトケミカルプロダクツ。特許取得の「イオン交換樹脂法」を用い、米ぬか由来の未利用油から高機能素材を生み出します。加藤社長は、エンジニアの知見を活かし、特許とノウハウを使い分ける緻密な知財戦略を構築。女性リーダーとして多様な人材が活躍する組織を率い、循環型社会を目指す同社の歩みについて伺いました。

## 未利用油から新たな価値創造

### 未利用バイオマス資源

米ぬかから米油を製造する際に副生する未利用油など



本来、水処理(不純物の除去など)に使われる「イオン交換樹脂」を、油の中で触媒として使用する世界初の技術。

イオン交換樹脂に油を通すことで、化学反応と成分分離を同時に行う。

従来、油から成分を取り出すには

200℃以上の高温で蒸留する必要があったが、

この技術では50℃程度の低温で処理が可能のため、

エネルギー消費抑制にも貢献する



EXPO 2025 JPO-WIPO AWARDの表彰会場で。左から特許庁長官・河西康之氏、審査委員長・日野真美氏、ファイトケミカルプロダクツ・加藤社長、世界的所有権機関(WIPO)事務局長・ダレン・タン氏

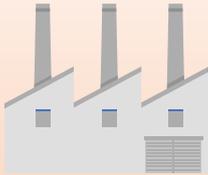
## ファイトケミカルプロダクツの「ビジネスの2本柱」を支える知財戦略

### 技術売り

#### ライセンス&エンジニアリング事業

- 技術ライセンス
- エンジニアリング & 商業化支援

食用油メーカーへの技術供与など



「米ぬか油」だけでなく、世界で最も生産量の多い「パーム油」をはじめ、「大豆油」や「菜種油」など、ほぼすべての植物油で適用可能。また、牛や豚の脂（ラード）などの動物性油脂にも対応する

### もの売り

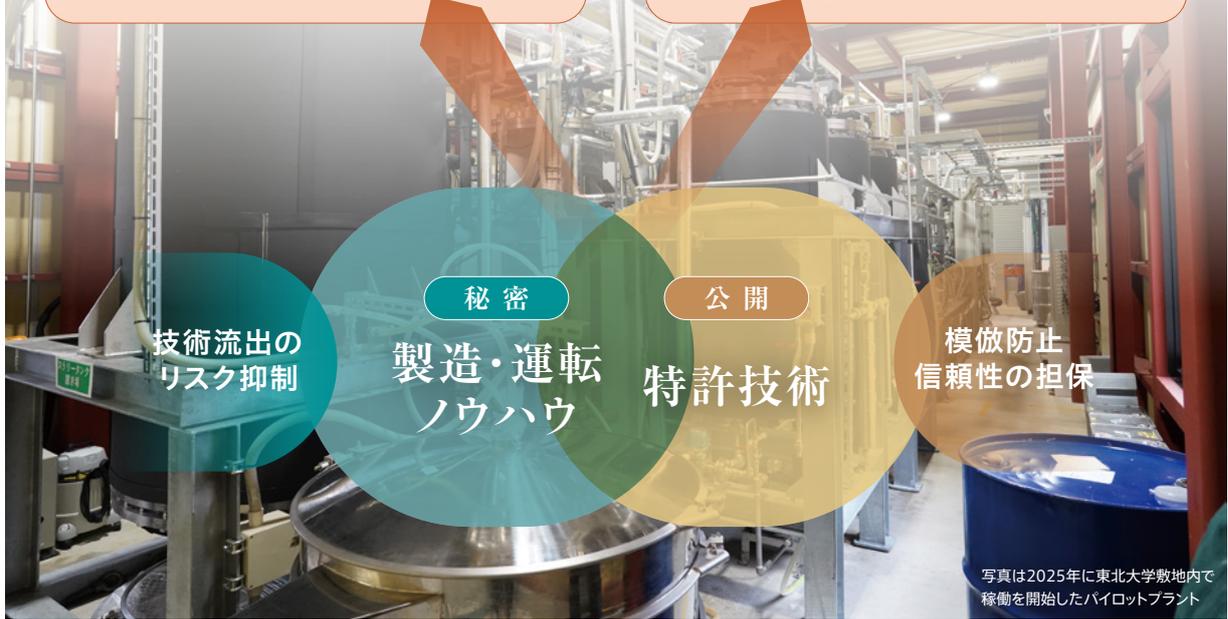
#### 機能性素材製造事業

- スーパービタミンE
- バイオパラフィン
- 植物ステロール

自社製品による展開や食品/化粧品/サプリメント製造企業などへの原料販売など



自社製品例  
「おコメのきもち」  
米ぬか由来のトコトリエノール油によるサプリメント。「スーパービタミンE」と呼ばれ、ビタミンEの約50倍の抗酸化力を持つと言われる



技術流出の  
リスク抑制

秘密  
公開  
製造・運転  
ノウハウ  
特許技術

模倣防止  
信頼性の担保

写真は2025年に東北大学敷地内で稼働を開始したパイロットプラント

特許とノウハウを戦略的に使い分けることで、  
技術流出のリスクを抑えながら、2方向のビジネスとグローバル展開を可能にしている

当社のビジネスは、自社で機能性素材を製造・販売する事業と、技術そのものをライセンス提供する事業の二本柱。知財戦略については、装置の構造や基本的なプロセスについては国内外でしっかりと特許を取得し、他社による容易な模倣を防ぎ、技術的な信頼性を担保します。一方で、装置を動かすための細かな温度管理や制御のタイミングといったノウハウについては、あえて特許にはせず、社内だけの秘密としてブラックボックス化。このように、特許とノウハウを戦略的に使い分けることで、技術流出のリスクを抑えながら、グローバルな展開を可能にしています。

特許権の取得に関しては、当初は研究論文をそのまま弁理士に渡してお任せするような状態でしたが、化学メーカーの知財部門出身の方から厳しい指摘をいただき、どの範囲まで権利化すべきか、請求項をどう構成すべきかを社内内で徹底的に議論し、戦略的に出願する体制へと変わっていききました。今では、知財への理解も深まり、自分たちで明細書の骨子を作成し、コントロールできるようになっています。

### 「女性活躍」が当たり前の社会へ

2025年、私たちは「EXPO 2025」PO-WIPO AWARD」の女性活躍推進部門を受賞しました。大変光栄なことですが、私は「女性活躍」が当然になり、その言葉自体がなくなる社会が理想だと思っています。

理系・工学系分野では女性が少ないのが現状ですが、現場では性別による能力差などないことに気づきます。「女性だから」と遠慮したり、自分で枠を決めず、「やってみたらできる」ということを、次の世代にも伝えていきたいですね。

スタートアップの経営は資金調達など苦労は絶えませんが、将来的発展の基盤となるのが知財です。確かな技術と知財があることが、パートナー企業との信頼構築において大きな力となっています。私たちの技術は、米ぬか由来のものだけでなく、世界中の未利用油を価値あるものに変える可能性を秘めています。ここ宮城を拠点に、知財を武器に世界へ羽ばたき、循環型社会の実現に貢献していきたいと考えています。

# 少数精鋭の特許権で「美しい特許網」を作る

## AI医療の最前線

長時間心電図解析ソフトウェア

「SmartRobin AIシリーズ」を展開し、医療のDXを推進するカルディオインテリジェンス。

同社の急成長を支えるのが、共同創業者である波多野薫氏が提唱する「美しい特許網」です。第6回「IP BASE AWARD」スタートアップ部門奨励賞を受賞した独自の知財戦略と、多様な個性が活躍する組織づくりについて、波多野氏に話を伺いました。



株式会社カルディオインテリジェンス R&D担当 波多野 薫さん

東北大学大学院情報科学研究科修士、グロービス経営大学院経営学修士 (MBA)。2019年にカルディオインテリジェンスを共同創業。第6回 IP BASE AWARDスタートアップ部門奨励賞を受賞。その他、株式会社QDLレーザ社外取締役、東北大学特任教授なども務める。

株式会社 カルディオインテリジェンス

所在地：東京都港区東麻布1-25-5 VORT 麻布イースト2階 URL：https://www.cardio-i.com/ 設立：2019年 (令和元年) 業種：AIを用いた長時間心電図解析ソフトを開発する医療機器製造業 従業員数：20名 (2025年9月現在)

### 共同創業者間の徹底的な対話で築いた「事業を守る」知財戦略

当社にとって知財とは、事業成長のエンジンであり、かつ守りの要。知財戦略は、「製品・サービスに直結する基本的な部分の特許とノウハウを適切に使い分けたハイブリッド戦略を実施する」という方針です。目指しているのは、本当に必要な部分だけに絞らんだ特許権による、シンプルだけど強固な「美しい特許網」。闇雲に特許権を取得するのではなく、全体の事業計画を見て「特許権を守るべき部分」を精査し、権利化しています。

ただ、創業当初は少し違っていました。共同創業者の多くは博士号を持つ研究者で、「技術的に高度なものこそが特許になる」という固定観念が根強くあり、「事業計画から逆算」し、「製品の提供価値」につながり「特許権で守るべき部分」を精査して、作成した出願申請書は、技術的に高度な内容の多くが記載されていなかったために「このような内容では、特許庁に特許権を認めてもらえないのではないか」という声がありました。

象徴的だったのは、発作が起きていない非発作時の心電図から心房細動の兆候を見つけるA-I技術の出願時でした。出願書類に技術的に高度な部分が記載されていなくても、解決しようとする「課題」そのものに新規性があれば、特許権は取得でき、その特許権は強力になる——。私はそう信じ、社長と膝を突き合わせて議論を重ね、ついには出願し特許権を取得しました。これがきっかけで、技術的な高度さ、イコール特許権の強さでは



AIを活用した長時間心電図解析ソフトウェア「SmartRobin (スマートロビン)」。心房細動の高精度な自動検出を実現し、従来は膨大な時間を要した解析作業を大幅に効率化することで、脳梗塞の原因となる不整脈の早期発見を支援する。

#### 心房細動波形表示

UI/UXを権利化 (特許第7254399号)

AIが選出した心房細動の代表波形をリスト表示。拍ごとの色付け、ビートサークルにより視覚的に確認できる。



#### ビートサークル

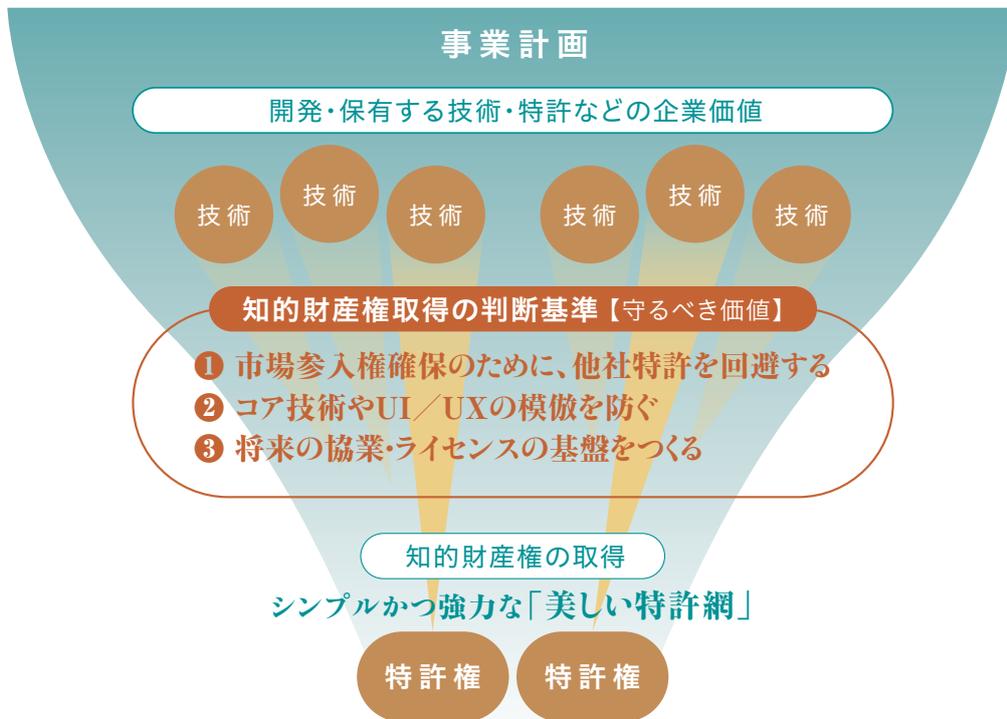
UI/UXを権利化 (特許第7303600号)

波形に不整脈 (心房細動、期外収縮など) が含まれる可能性を直感的に表現。



## カルディオインテリジェンスが進める「美しい特許網」

技術ありきではなく、事業計画の実現において「守るべき価値は何か」を定義し、必要最小限の特許を取得



知財は事業の守りであり、信頼の基盤である

### 「美しい特許網」を目指す背景

#### 経営資源の最適化

スタートアップのリソースを事業成長の核となる特許に集中投下

#### 市場規模への適合

医療機器業界の特性に鑑み、維持コストと効果のバランスを追求

#### 信頼の証明しやすさの重視

ブラックボックス化しやすいソフトウェアにおいて、客観的に証明できるUI/UX等に絞り、他はノウハウとして秘匿



「異なる専門性と感性の融合」が組織の質を高めていると感じます」と波多野氏

#### 色付け

さらに1拍ごとの評価を行い心房細動の特徴を識別表示。

- 特徴が明瞭な拍：オレンジ
- 特徴が不明瞭な拍：青色



### 知財は世界へ進出するための「切符」

ないという認識が、社内に浸透していきました。現在、当社の知財プロセスは経営の中枢に組み込まれています。新規な特許出願や拒絶理由通知に対する対応の際には、役員全員が内容を確認。社長を含む役員全員で事業戦略に合致するように対応を精査しています。

当社主力製品「SmartRobin<sup>®</sup>」の開発では、女性スタッフの声が大きく反映されました。というのも、心電図解析の現場では多くの女性が活躍しており、ボタンの配置や配色の微妙なニュアンスなど、以前現場で活躍していた彼女たちの「こうなっていた方が使いやすい」というプロフェッショナルな感性が随所に反映されています。

こうした感性は、心電図解析の現場に選ばれるための重要な要素になっています。多様なバックグラウンドを持つメンバーが対等に意見を交わす当社の風土は、組織の柔軟性や意思決定の質を高める上でも大きな武器になっていると実感しています。当社では、グローバルな事業展開も視野に入れていますが、海外企業と連携する際、知財が業事承認のどちらかは最低限必要だと言われています。ですから、当社にとって、知財は、世界へ進出するための「切符」であると言えます。進出先の国の特許権を取得していることは、その国のパートナー企業から信頼を得るための基盤になります。

また、「第6回 IP BASE AWARD」の受賞は、私たちが当たり前だと思ってきた活動が間違っていなかったという証明になり、社員全員の自信にもつながりました。

大切なのは、会社のビジョンを知財の観点で考え抜く「当事者意識」です。特許のひとつひとつが、会社のビジョンや価値観を反映したものであること。そのために周囲と対話を重ねるプロセスこそが、知財の真髄ではないでしょうか。さらに、会社の志が自分自身の志と一致していれば、これほど幸せなことはありません。ぜひ、「自身の軸を見つめ対話を始めてみてください。」

# 知財戦略

どうやって  
取り組んでいるの？

知財戦略に積極的に取り組む  
企業をピックアップ！

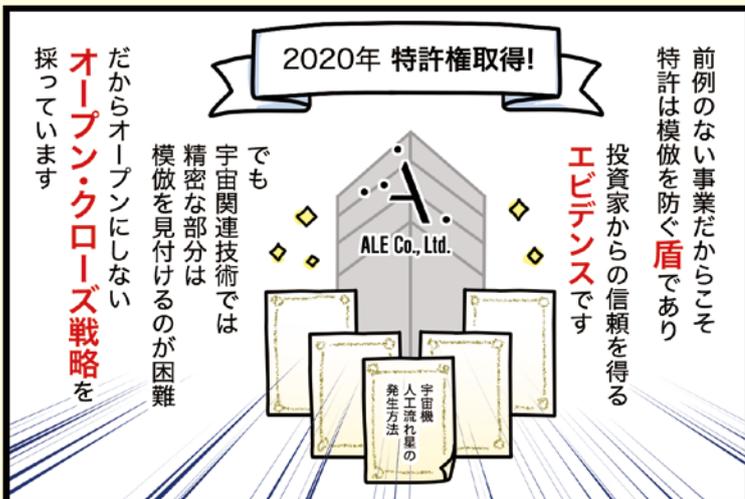
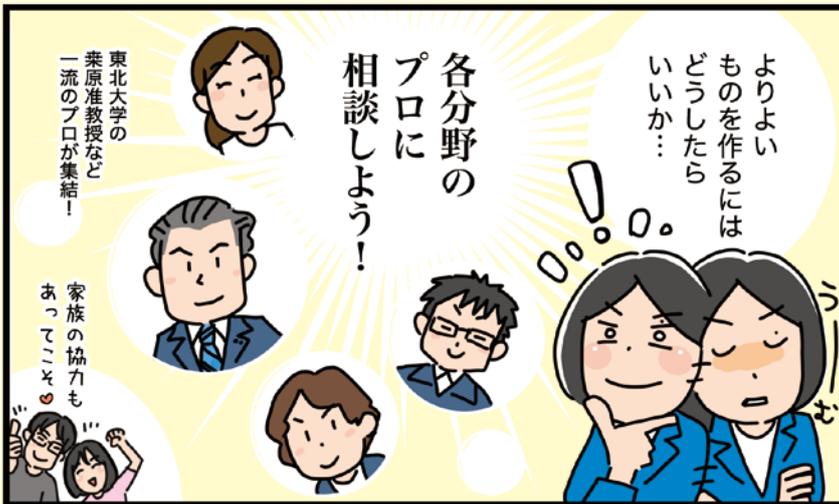
## 夜空を巨大なキャンバスに！ 世界初の人工流れ星へ挑む 女性起業家の夢を守る知財力

「流れ星を作りたい」その夢を現実に。

天文学者で二児の母、岡島礼奈氏が語る、宇宙ビジネスと知財活用の秘訣とは？



星空の美しさから、鳥取は「星取県」と呼ばれています



## PROFILE

### 株式会社ALE

所在地:東京都港区芝大門2-11-8 住友不動産芝大門二丁目ビル

URL: <https://star-ale.com/>

設立: 2011年(平成23年)

事業内容: 人工衛星技術を活用した宇宙ベンチャー(宇宙エンターテインメント事業「Sky Canvas」、大気データ事業、宇宙デブリ対策事業)

従業員数: 約40名(2022年3月現在)



### 代表取締役社長 おかしま れな 岡島 礼奈さん

1979年鳥取県生まれ。東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了(理学博士)。2008年ゴールドマン・サックス証券入社。2011年に「科学を社会につなぎ、宇宙を文化圏にする」をミッションに株式会社ALEを設立。二児の母。



さらに組織の求心力を高め長期にわたる宇宙開発を支える強固なチームビルディングを行うために会社のミッションをあらためて言語化しました

科学を社会につなぎ宇宙を文化圏にする

これが私たちの北極星です

ロゴは「しし座流星群」始まりの好奇心を忘れないための象徴です

ALE Co., Ltd.

もちろん、商標権取得

SKY CANVAS

JAXAとの共同開発

知財を基盤に日本の宇宙産業を牽引したい

2025年万博への参画

ALE for EARTH

「自分が太陽として輝く」のではなく、多様な才能を持つ「星々」をつなぎ合わせ「一つの美しい星座(ビジョン)」を作り出した

2020年

衛星の不具合により打ち上げが延期...

しかしチームの団結にゆるぎはなく誰一人、辞めるなんて言い出す人はいませんでした

迷ったらワクワクするほうを選ぶそれが道を拓くことにつながると思っています

科学に興味を持ってくれる子どもたちを増やしたい!

2028年-2029年

人工流れ星 実現に向けた新たなプロジェクト計画中

一般の人が宇宙開発に参加できるユニークな仕組みです

アイデア・出願・事業展開・海外展開 など

# 知財支援は **INPIT**におまかせ!

無料で  
アドバイス

知財支援は**INPIT**



日本の中小企業経営を支えたい

あなたの会社にも

他者に負けない「何か」があるはず。  
その「何か」を意識してみませんか?

## INPIT 知財総合支援窓口 って?

「INPIT知財総合支援窓口」は独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）が、47都道府県に設置している地域密着型の相談窓口です。中小企業をはじめとした企業の皆様の経営課題解決に向け、自社のアイデア、技術、デザイン、ブランドなどの“知財”の面から支援を行います。

INPITがお手伝いした事例をご紹介します

**INPIT REPORT vol.20**

合名会社川敬商店

今回の事例は  
こちらから  
▶▶▶



## ブランド確立と海外展開の支援で 国内の売上アップ、輸出も実現!

### 支援のプロセス

合名会社川敬商店は、伝統的な山麴仕込み製法が特徴である日本酒の製造・販売の蔵元です。知財の相談会への参加をきっかけに、INPIT宮城県知財総合支援窓口での支援をスタートしました。「黄金澤」ブランドは、全国新酒鑑評会において17年連続で金賞を受賞した実力があるブランドではあるものの、県内においては知名度向上が課題となっていました。そこで、INPIT知財戦略エキスパートやブランド専門家などを活用し、日本酒に対するブランディングや海外展開の基礎事項などに関する支援を実施しました。特に、自社の強みや10年後の将来像からの思考を整理し、ブランドについて何度も検討を重ねることで、自社ブランド像が確立され明確となっていきました。並行して、JETRO（独立行政法人日本貿易振興機構）の海外販路開拓支援も活用して、取引先候補を専門家と共に検討しました。その際に、米国ニューヨーク州の弁護士資格を有する専門家から契約書に関して助言を行うとともに、宮城県よろず支援拠点に連携を依頼し、販路開拓に向けた支援も実施しました。

### 支援の成果

JETROの紹介で海外の取引先と商談を行い、米国への輸出を実現しました。現在も複数社と商談を継続しています。2024年度には、専門家の助言で新しい書体の「黄金澤」を国内外に商標出願し、日本では登録となりました（商標登録第6869151号）。また、海外出願支援事業の補助金を活用し、海外（中国・韓国・シンガポール・米国・台湾・ペネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク））においても出願を完了しており、取引国や商談国でのブランド名の保護に向けた取組が進行中。国内販売店からの引き合いも増加し、売上は前年比110%になりました。



### KEY PERSON'S VOICE



合名会社川敬商店  
蔵元兼社氏  
川名 由倫様より

ブランディングや海外のビジネス制度・知的資産制度などの様々な専門性を有する専門家の指導を受けることができ参考になりました。ブランディングや海外展開で迷ったときには、INPITの窓口にご相談することもお勧めします。

何でも学んで挑戦する積極性と向上心をお持ちで、そのため専門家からの様々な指導もすぐに吸収して事業に活用いただけたように思います。これからもブランディングに加え新商品開発等も支援させていただければと考えます。



INPIT 宮城県知財総合支援窓口  
千葉 雅彦様より

### PROFILE

合名会社 川敬商店

所在地:宮城県遠田郡美里町二郷字高玉六号7

URL:<https://www.koganesawa.com/>

設立:1902年(明治35年)

業種:製造業

従業員数:5名(2025年4月現在)



INPIT 知財総合支援窓口  
全国共通ナビダイヤル



0570-082100 (平日 9:00~17:00)

※全国47都道府県に設置されたお近くの窓口におつなぎいたします

INPIT 知財総合支援窓口  
知財ポータル



<https://chizai-portal.inpit.go.jp>

WEBはこちら ▶



# 産業財産権制度140周年

特別企画

日本で専売特許条例が公布されてから、2025年で140年となりました。  
これを記念して、2015年から2025年までの10年間における印象的な出来事と、  
現役職員の振り返りを連載していきます。

直近10年の  
ピックアップ

制度改正編

## 申請手続のデジタル化で利便性や迅速性が向上

産業財産権に関する手続のペーパーレス計画を実施するため、平成2年（1990年）に「工業所有権に関する手続等の特例に関する法律」（通称：特例法）を制定し、これを皮切りに、出願から審査・登録・公報の発行に至るまでの過程を総合的にデジタル化するための取組を推進してきました。特例法では、書面手続を原則とする特許法等に対する特例として、オンラインでの手続を可能とし、その対象手続や方法については下位法令に委ねられているところ、ペーパーレス計画の進捗に応じて順次、対象手続を拡大する改正を行い、多くの手続が電子化された一方、書面でのみ手続が可能なものも残っていました。

こうした中、政府全体のデジタル化推進や押印義務の廃止を背景に、特許庁では2021年に「特許庁における手続のデジタル化推進計画」を策定し、2024年3月までに原則として全ての申請手続をオンラインで行えるようにすることを目標に掲げ、

システム面・法令面それぞれの整備を進めました。書面受付のみとして残っていた申請手続のデジタル化に当たっては、特許庁システム上及び特許特別会計の財政上の制約より、従来から採用しているXML形式に代えて、PDF形式にて受け付けるためのシステム整備を進めるとともに、法令面においても、オンライン手続の方法としてPDF形式での提出を可能とする改正を令和5年（2023年）に行いました。併せて同年には、無効審判請求書等の副本の送達が必要な書類についても、電磁的方法による提供を可能とする改正を行いました。いずれも2024年1月より運用が開始されています。

これらの改正により、産業財産権に関する手続について、感染症を契機とした「非接触」ニーズなどの近年の社会変化に対応するとともに、利便性や迅速性の一層の向上を図っています。



伊藤 章浩

2017年入庁。中小企業等の知財ユーザー支援、統計調査、料金・減免制度に関する業務などを担当した経験を持つ。



小野 和実

2003年入庁。制度改正のほか、システム予算や行政訴訟、弁理士制度に関する業務などを担当した経験を持つ。

### 現役職員が語る、特許庁の変遷

#### 申請手続のデジタル化



伊藤

令和5年の法令改正で、PDF形式での申請が可能になりましたね。



小野

これまではXML形式のみでしたが、システム面・法令面それぞれでPDF形式の門戸を開くことで、オンラインで可能な手続の対象が一気に広がりました。



伊藤

ほかにも、無効審判請求書等の副本送達も電磁的方法でできるようになりました。



小野

これまではPDFで提出されてもプリントアウトして送達していましたが、令和5年の法令改正によりオンライン送達やPDFを記録したDVD等による送達が可能になりました。ユーザーからの『電子化された形式で送達してほしい』という要望に、ようやく応えられました。



伊藤

制度改正には様々なハードルがありますが、こうしてユーザーの声に応えられるのは嬉しいです。



小野

そうですね。コロナ禍の影響でデジタル化の必要性が一気に高まったところ、令和5年の法令改正は、その流れを制度にしっかり取り込むことができました。今後も時代の変化に合わせて、より良い制度を目指して取り組んでいきたいですね。



TOPIC &gt;&gt;&gt;

# 女性弁理士のリアルな本音に迫る インタビュー記事を公開中

クライアントの夢に寄り添い、行政との橋渡し役となる——。  
そんな弁理士の「現場」を記事に収めました。今回密着したのは、女性弁理士の田中咲江さん。  
オフィスでの様子から、仕事の難しさとワークライフバランス、そして「面白い仕事」と  
笑顔で語るやりがいで。その情熱と空気感を、特許庁HPでぜひご覧ください。

## 私らしく働く。 その選択肢に、弁理士という仕事があった。

責任と自由は表裏一体。女性弁理士が語る、仕事とキャリアのリアル



たなか さきえ  
田中 咲江さん

所属はCP JAPAN 総合特許事務所、2012年に弁理士の資格を取得。アパレルの企画・デザイン現場を経験した後、意匠・商標を専門とする弁理士として、企業のブランドづくりを支える。

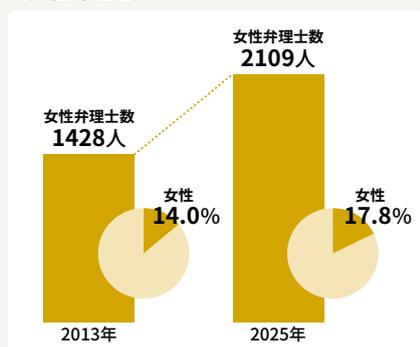
インタビュー記事の  
全編はこちら

弁理士インタビュー特集  
／特許庁



## 約10年前の1.5倍！ 女性弁理士が増えています

■女性弁理士数



近年、弁理士業界における女性の活躍が目覚ましく広がっています。2025年12月末時点で、女性弁理士数は2109人となり、弁理士全体の約17.8%を占めるまでになりました。2013年と比較すると約1.5倍の増加となっています。\*

この背景には、育児休暇制度の充実、リモートワークの進展、フレックスタイム制の導入など、ライフステージに合わせて柔軟に働ける環境が整備されてきたこともおそらく要因の一つ。専門性を活かしながら、自分らしい働き方ができる職業として、女性からも注目が高まっています。

\*出典：日本弁理士会「最新の会員分布状況」資料編より

## このインタビューの見どころ!



### 見どころ① 弁理士を目指したきっかけ

父が自動車会社の知財部で働いていたこともあり、知財に関する資格の話聞いた際に「弁理士」という仕事があることを知りました。

### 見どころ② この仕事ならではのやりがい

世に出る前の新しいモノやサービスに出会う機会が多いことですね。自分が関わった製品やサービスが世に出て注目されると、とても嬉しい気持ちになります。

### 見どころ③ ワークライフバランスは?

リモートワークも進んでいて、ライフステージに合わせて働き方を調整しやすくなっていると思います。特定の勤務時間に縛られることなく自分でスケジュールをアレンジできます。



### 見どころ④ 異業種からの転身も活かせる

私の仕事は、ブランドやデザインに関するテーマに深く関わることが多く、アパレル業界での経験が大いに活かされていると感じています。

### 見どころ⑤ これから弁理士を目指す方へ

自分が何に対して喜びや楽しさを感じるのかを知ることが大切だと思います。自分の得意なことを発揮できて、喜びを感じられる場所を見つけてほしいです。



## インタビューで語られた、弁理士として活躍する未来を、 あなたも目指してみませんか?

### 令和8年度弁理士試験受験案内(概要)

- 願書受付: 令和8年3月5日(木)~4月2日(木) (4月2日消印有効)
- 短答式筆記試験: 令和8年5月17日(日)
- 論文式筆記試験: (必須科目) 令和8年6月28日(日) / (選択科目) 令和8年7月26日(日)
- 口述試験: 令和8年10月17日(土)~19日(月)のいずれかの日

受験資格: 学歴制限、年齢制限、国籍制限等は一切ありません。

受験願書の交付方法(3種類): 1.インターネットで請求、2.郵送で請求、3.直接交付

お問い合わせ

特許庁総務部秘書課弁理士室試験第一班  
TEL:03-3581-1101内線2020 / FAX:03-3592-5222

詳しくはこちらから

令和8年度 弁理士試験情報の案内  
/ 特許庁





# 特許庁からのお知らせ

Information from the JPO

## 企業の活用事例も掲載。海外での権利取得をもっと分かりやすく 意匠・商標の国際出願のページを大幅にリニューアル!

特許庁の「意匠の国際出願(ハーグ協定のジュネーブ改正協定に基づく国際出願)」「商標の国際出願(マドリッド協定議定書による国際出願)」の両ページが見やすく、使いやすく生まれ変わりました!

新しいウェブページは、「制度を知る」「権利を取得・管理する」「情報を探す」「支援を受ける」の4つの入口で、欲しい情報に一直線。初めての方でも迷わず直感的に理解できるよう、国際出願制度における出願から登録までの流れやメリット、オンライン手続の方法など、図解でスッキリ整理しています。

さらに「商標の国際出願(マドリッド協定議定書による国際出願)」のページでは、実際にマドリッド制度を活用してコスト削減や権利管理の一元化を実現した企業インタビューも掲載。リアルな成功ポイントが詰まっています。

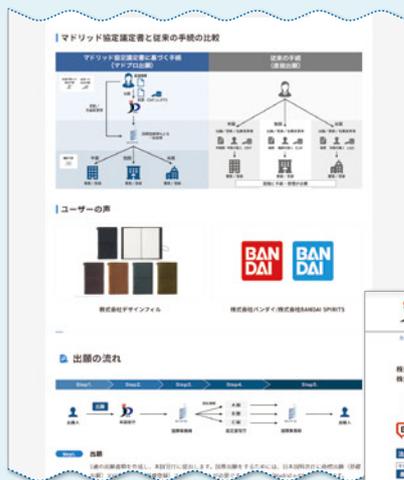
海外ビジネスへの第一歩を、もっと簡単に、もっと身近に。  
新しくなった国際出願ページで、ユーザーの皆様の挑戦を後押しします。

### 意匠の国際出願

### 商標の国際出願

#### ハーグ協定のジュネーブ改正協定に基づく 国際出願のページ

#### マドリッド協定議定書による国際出願のページ



意匠の国際出願  
／特許庁  
こちらから



商標の国際出願  
／特許庁  
こちらから



## ネットワークを構築する5者の総力で、中小企業等への知財経営支援の取組を更に強化します! 知財経営支援ネットワークにおけるアクションプランを策定しました

特許庁、中小企業庁、独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)、日本弁理士会及び日本商工会議所が連携して構築している「知財経営支援ネットワーク」では、2023年3月の発足以来、地域の中小企業・スタートアップ等への知財経営支援の強化・充実化等に取り組んできました。

この度、本ネットワークを構築する5者は、これまでの取組を継続しつつ、成果の全国への拡大や、見えてきた新たな課題への対応、各機関における支援策等の相乗効果の向上等を目的に、同ネットワークの取組を更に強化するためのアクション

プランを策定しました。

今後、5者は、各地域の経営、金融、海外展開等の各支援機関とも連携しながら、本アクションプランの実現に取り組むとともに、フォローアップを行い、着実に成果を挙げていきます。

詳しくはこちらから

知財経営支援ネットワークの  
更なる強化に向けたアクションプランを策定し、  
5者の代表による共同の署名式を開催しました／特許庁



2024年1月、特許庁は福島県及び公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構と、知的財産の保護及び活用に関する連携協定を締結しました。知財で福島の新しい時代を切り開く企業やプロジェクトを紹介します。



住所: 福島県福島市泉字式斗時2番地の4  
 URL: <https://mother-solution.jimdosite.com>  
 設立: 2022年(令和4年)  
 業種: 育児・安全・福祉グッズ等の企画・開発・製造・販売。  
 オンラインショップ「子育てママの店アトリエamane」を運営。  
 従業員数: 10名(社員1名、パート7名、サポートスタッフ2名 2026年1月現在)

## 株式会社 マザーソリューション



▲子どもの成長段階に応じておもちゃや吊り革、ハーネスなど多彩に使える「4wayキッズリードDX」  
 ■弱視の子どもを持つママが考案した肌ストレスに配慮した「アイパッチ」  
 ■転倒時に水筒がお腹側に回ってケガすることがないよう考案された「安心水筒ホルダー」  
 ■活き活きと働く女性スタッフたち

## 「親視線」のアイデア×知財 福島から届ける、安心できる育児の安全グッズ

「以前はアナウンサーの仕事をしていましたが、妊娠を機に退職。その後、手芸を始め、その奥深さに魅了されました」  
 マザーソリューションの創業者・齋藤祐子社長は、ハンドメイドサイトで手芸の作品の販売を始め、某インターネット通販サイトからのオファーをきっかけに出店を決め、本格的にものづくりを生業とすることを決めました。

現在、主力とするのは「キッズハーネス」などの育児の安全を目的としたグッズ。それらのグッズは、自分事としての「親視線」から生まれます。

「私たちの商品は、育児の困りごとから生まれます。それを解決するためにアイデアがひらめくと、身近にある材料を組合せて試作品をつくり、早ければ翌日に発売することもあります。まずは世に出す。そしてお客様の声を元に改良を繰り返す。それが当社のものづくりのやり方でした」

しかし、そのやり方には困った点もありました。それは、世に出してしまうと模倣されるリスクがあるということでした。

事業拡大に伴い、重要性を増したのが知的財産権。当初は模倣品対策として知的財産権を取ればよいと思いましたが、福島県発明協会の方から「知的財産権は事業を守るだけでなく、お客様に安心を伝えるためのものでもある」と助

言され、思考が一変したそうです。

「ネット販売においては、ブランドを守る商標権がとても重要。さらに現在は、チャイルドシートからの抜け出しを防ぐ新構造のアイテムについても出願しました。知的財産権で模倣品の出現を防ぎ、安全で安心できる商品をお客様に届けたいです」

福島市で創業し、現在は従業員10名の会社に成長。

『都会じゃないからできない』ではなく、ネットの先にある世界中の人と出会えばいい。ここ福島から、知的財産権を活用して、親御さんの笑顔を増やす商品を作り続けます」

### POINT

#### 暮らしの「余白」が 創造力の源泉に

16時終業を徹底している同社。スタッフの多くは子育て中の母親で、16時以降は子どもの送迎や家事の時間。家族と過ごす時間が心に余裕を生み、仕事の原動力にもなっているそうです。「社内は『ママ友会』のような雰囲気、家庭での『こんなことに困った』という雑談が、そのまま新商品の種になることも。無理なく働ける環境が、柔軟なアイデアとスピード感あるものづくりを支えています」(齋藤社長)

第11回ふくしま産業賞(経済・産業・ものづくり賞)で「福島民報社賞」受賞



# サントリーフラワーズ

## 不可能を可能にした夢の花 独自技術と知財で実現した 世界初の「青いバラ」



「喝采」の名を持つ、世界初の青いバラ。夜明けの空を思わせるほのかな青さと、みずみずしく豊潤な香りが特徴です。花言葉は「夢かなう™」で、不可能と言われた夢をあきらめずに実現した喜びが込められています

プロジェクトの中心メンバーで、「何度失敗してもあきらめない」が信条の中村典子研究員

身近な **知財**

vol. 04

さまざまなカタチで暮らしに進化をもたらす知財たち。新たなアイデアによって生まれた多彩なアイテムを紹介します。

### 花言葉「夢かなう」が象徴する 女性研究者たちのたゆまぬ挑戦

園芸家たちの夢でありながら長きにわたって不可能とされてきた「青いバラ」。それは青色色素を作る力を持った遺伝子がバラに備わっていないためです。サントリーは、青い花に含まれる数万種類の遺伝子の中から青色色素を合成するために必要な遺伝子を探して特定。最先端のバイオ技術でバラに導入し、世界初の青いバラ「ア

ブローズ」を誕生させました。青色遺伝子はいち早く特許を取得し、独占的な権利を確立しています。開発業務には、女性が大きく貢献。商品化にあたっては、導入した遺伝子が野生のバラに影響を与えないか（生物多様性影響評価）を若手女性研究員主導で研究するなど、多くの女性スタッフが深く関わっています。

#### サントリーフラワーズ株式会社

花・野菜のプレミアムな商品を通じて、世界の人々に潤いと感動の暮らしを提案。

所在地：東京都港区芝4-17-5 相鉄田町ビル4F

URL：<https://www.suntory.co.jp/flower/>

設立：2002年（平成14年）

業種：園芸・植物ビジネス（花苗・鉢花・野菜苗・青果・切花の開発・生産・販売）

従業員数：63名（2025年11月現在）

WEB版はこちら

※バックナンバーもご覧いただけます



特許庁の広報誌「とっきよ」に関するアンケートにご協力ください

「とっきよ」アンケート >



# とっきよ 68

発行：2026年3月12日 制作：特許庁広報室

